

私のすすめるこの1冊

竺沙 知章(連合教職実践研究科 教授)

『誤植読本』

高橋 輝次(編著)

本を出版したり、雑誌に論文やエッセイ、小説を
発表したりする際に、避けて通ることができないの
が、校正である。それは、原稿の誤字、脱字、誤記
を修正したり、印刷の過程で生じる植字の誤り、す
なわち誤植を修正したりする営みである。本書は、
誤植、校正にまつわる作家や編集者たちのエッセイ
集である。53のエッセイ(森鷗外「鸚鵡石(序に代
うる対話)」、相澤正の俳句を含む。)とあとがき、
解説が収録されている。内容は、誤植打ち明け話、
著者の眼・編集者の眼、誤植・校正をめぐる思索、
近代作家の誤植・校正、校正の風景、という5部構
成である。

人間には、失敗、過ちはつきものである。しかも
書物の完成には、多くの人たちが関わり、その関わ
りの中で考えられないようなミスが生まれることが
ある。またその過程において、思いがけない交流が
生まれることもある。特に活版印刷の時代の文選工、
植字工と呼ばれる職人と著者たちとの交流が味わい
深い。また出版後は、読者との交わりも必然的に生
まれてくる。それだけに、誤植は、作家、編集者に
とって、様々な、何とも言えない複雑な思いを抱か
せることになる。

当事者にとっては、冷や汗が出るようなすぐにで
も訂正したい誤植であっても、第三者から見ると、
思わず吹き出してしまう傑作もある。例えば、「事
情」が「情事」になったり、「学者」が「芸者」に
なったりした例が紹介されている。明らかな誤植だ

が、その誤植の文でも妙に意味が通じてしまい、余
計に滑稽になる愉快な話を読むことができる。

あるいは本書を読むと、誤植が作品をより豊かな
ものにする場合があることもわかる。大岡信は、誤
植の漢字の方が面白いことに気づき、訂正せずにそ
のままにした経験を述べている。誤植が、思いもか
けず、優れた創造性を発揮することもある。

私たちは、文章を書くときに、国語辞典、教科書
に従い、正しく書くことが求められ、そのような教
育を受けてきた。ある戦時中の女学校の生徒による
日誌で、「警戒警報」とすべきところを「驚戒驚報」
と書かれていて、教師の字で訂正されているもの
があるようだ。著者も述べているが、「驚戒驚報」は
誤りではあるものの、こちらの方が女学生の気持ち
がよりリアルに伝わってくる。正しい漢字、正しい
表現をすることがすべてではない。標準化され、統
一されることが、常に望ましいとも限らない。同じ
言葉について漢字表記とひらがな表記が混在するこ
とを認めず、どちらかへの統一を求める昨今の校正
のあり方に苦言を呈しているものもある。私たちは、
文字を書き、それによって何かを伝えようとし、ま
た文字を読むことによって何かを受け止めようとす
る。そこに偶然性が必ず紛れ込むことになり、その
ことがさらに私たちの思考を豊かなものにする。本
書は、そうした私たちの営みをじっくりと味わうこ
とができる一冊である。

昨年5月からはじまった話題書リクエストへの投票ありがとうございました。

5月～12月の間で、小説を中心に、画集、図鑑、レシピ本、漫画などなど、計103冊を購入しました！各月の得票数第1位について、あらためて紹介します！

6月

『翻訳できない世界のことは』
エラ・フランシス・サンダース著
イラスト、前田まゆみ訳、創元社
他の言語に訳すときに一言では言い表せないような各国固有の言葉を世界中から集め、著者の感性豊かな解説と潇洒なイラストを添えた世界ユニークな単語集。



5月

『君の臍臓をたべたい』
住野よる著、双葉社
臍臓を患う「彼女」と、「僕」。
かなしくもやさしい物語。



7月

『ほのぼのログ：大切な
きみへ：深町なか画集』
深町なかイラスト・構成、
一迅社
人気イラストレーター・深町
なかによる初の個人画集。



8-9月

『小説君の名は。』
新海誠著、KADOKAWA
『秒速5センチメートル』『言の葉の庭』など美しい映像表現と切ないストーリーで知られるアニメーション監督・新海誠による大ヒット映画の原作小説。



10月

『何様』
朝井リョウ著、新潮社
映画化された『何者』アナ
ザーストーリー六篇を収録
した最新作品集。



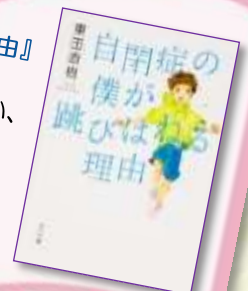
11月

『ハリー・ポッターと呪いの子』
J.K. ローリング、ジョン・ティファニ
ー、ジャック・ソーン著；ジャック・
ソーン舞台脚本、松岡佑子訳、静山社
『ハリー・ポッターと死の秘宝』での
戦いから19年、父親となったハリー
が2人目の子どもをホグワーツ魔法
学校へと送り出したその後の物語。



12月

『自閉症の僕が跳びはねる理由』
東田直樹著、KADOKAWA
自閉症で会話することが難しい、
でもパソコンや文字盤でコミュ
ニケーションできる。そんな著
者が自ら中学時代に内面を綴っ
た作品。



読みたい本に投票しよう！
(1日1ポイントまで)

リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！投票結果は館内に掲示しますのでお楽しみに！

※1月の投票期間は

1月16日(月)～2月4日(土) (延長になりました！)

図書館1階渡り廊下と北館2階研修セミナー室前に掲示しています。

※次回の投票期間は

3月13日(月)～3月31日(金)の予定です。

リクエストは
随時受付中です

(リクエスト方法については、
カウンターにおたずねください)



☆☆みんなで作ろう！わくわくブックチャート☆☆
読書キャンペーン 対象：本学学生
 実施期間：2016年10月1日(土)～
 2017年2月17日(金)

☆☆賞品の引換☆☆

- ♠期間：2016年10月3日～2017年3月24日
- ♠時間：月～金 9:00～17:00
- ♠場所：附属図書館1階事務室

あともう少しで終了です。
 どんどん参加してね！



春季休業に伴う長期貸出について

学部生：1月27日(金)～3月30日(木)
 院生・教職員：1月16日(月)～3月16日(木)
 【返却期限日】4月14日(金)
 ※視聴覚資料を除く

学修相談カウンター

理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。
 勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？
 どんどん利用してください！お気軽に！

【場所】北館2階ラーニングcommons
 【時間】16:00～20:00の該当時間

2月10日(金)まで受付ています！
 ※次回は4月から再開します。



えほんのもり (場所：児童書コーナー)

今月の「えほんのよみきかせ」は、
2月20日(月) 15:00～ です。

『おやすみくまちゃん』

文：シャーリー・バレントー 絵：デイヴィッド・ウォーカー
 訳：福本 友美子
 出版社：岩崎書店

今月の
 絵本カードは
 こちら！



★おすすめ★

くまちゃんたちの姿や動きがとっても可愛くて、親子で読めば、ニコニコ笑顔になれちゃいます！助け合う気持ちが育まれる絵本になっています。ぜひ、おうちで読んでみてくださいね！

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。このほかに毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

京都教育大学
それはかなう夢講座

第5回を開催しました

1月18日(水)、附属図書館1階のリフレッシュラウンジにて「それはかなう夢講座」が開催されました。理学科の沖花彰教授が「ニホニウムってなに？」をテーマに、理研の研究グループが発見し11月30日に正式に113番目の元素となったニホニウムについて、わかりやすく解説されました。

参加者にはおにぎりとお茶が配られ、定員30名のところ40名を超える参加者があり、多くの学生や教職員で賑わいました。



※次回(第6回)は、5月の予定です。お楽しみに！！
 【テーマ】1枚の写真、1つの動画について考える
 浅井和行(連合教職実践研究科 教授)

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト準備WG
 後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

企画展示室 (北館1階)

ぜひ、ご覧ください！

平成28年度
京都教育大学附属学校・園「第7回こども美術作品展」

【日時】2月8日(水)～2月13日(月)

※注)1月号掲載内容より日程変更いたしました。

【休館】日祝

【時間】10:00～19:00

学生のみなさんも、発表の場に
 どんどん活用してくださいね。

教育資料館まなびの森ミュージアム

今月の逸品

「ケーニッツ氏躍焰波動用火口・光四角回転鏡」
 (やっかんはどうようかこう・こうしかくかいてんきょう)

詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。展示をしていますので、ぜひミュージアムへ来てくださいね！



詳しくは…教育資料館 まなびの森ミュージアム
<http://manabinomori.kyokyo-u.ac.jp/manabinomori.html>

子どもの貧困の現状と課題 —教員が貧困問題に気付くための視点と支援の手立ての検討—

杉井 潤子・改田 仁実

京都教育大学紀要. 2016, No.129, pp.93-107.

現代日本は「一億総中流社会」というイメージとは異なり、子どもの貧困率が16.3%(厚生労働省, 2012)となっており、子どもの6人に1人が平均的な所得の半分を下回る額の世帯で生活している。学校で日々子どもと直接関わる教員は、貧困状況にある子どもから意識的あるいは無意識的に発せられるサインを見逃さず、貧困に対して適切な理解をもつことが必要となってくる。

そこで、本研究では4回生後期「教職実践演習」履修生を対象としてアンケート調査によって子どもの貧困問題に対する理解を調べた。その結果、約半数の学生が「子どもの貧困について知らない」あるいは「貧困問題について知っているが、具体的に想定できない」と回答していた。また、学校給食、行事への参加や高校・専門学校までの教育はすべての子どもに保障されるべきであるが、周囲のほとんどの子が持つスポーツ用品やおもちゃを持つことや、親の学校行事への参加はなくてもしかたがないと考えており、子どもの相対的貧困に対して深い理解が必要であることがわかった。

子どもへの声かけ指導に関しては、忘れ物に対する指導を行う前に理由や背景を探ろうとする学生が半数を超え、子どもの生活全体を理解しようと努める意識も見られた。

以上から、教員養成の段階から子どもの貧困への理解を促す機会をもつことが重要であることがわかった。子どもの貧困問題に総合的に対応していくためには、学校がプラットフォームとなって、教育の視点だけでなく、社会福祉の視点も取り入れ、家庭や地域で子どもが抱える課題にも対応していかなければならない。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 129 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00
■学内者のみ(9:00~17:00) ■休館(CLOSED)

2017年2月							2017年3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28					26	27	28	29	30	31	

2/6-2/10 後期末試験

2/4 入試(学外者来館不可)

2/25-2/26 前期入試

3/1 館内整理日

3/12 後期入試

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ (QRコード)

<http://tosh02.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.197(2017年2月号)

発行日:平成29年2月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp

